

## ICTニュースレター

発行：ICT支援員 長井英夫

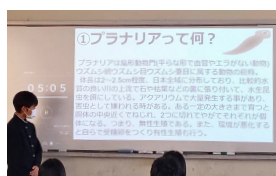
## 岩間先生 ✕ G Suite for Education (Classroom&amp;Slide&amp;Forms)

検索やマップでお馴染みのGoogle。教育分野にも「G Suite for Education」という総称でサービスを提供しています。機能は文書作成やプレゼンテーションなどのツール類、クラスを管理するClassroom。今回のレターはこの「G Suite」を活用した授業をレポートさせていただきます。

この日は生物基礎のクラス研究発表会。プロジェクターを使って研究発表会の手順、発表者と司会者の名前。それと研究発表資料とルーブリック評価ファイルへのリンクが投映されていました。聞き役の生徒のスマホにも同じ画面が表示されており、手元で自由に読むことができます。



少し落ち着いたところで司会者の生徒より「〇〇さんの研究発表です」で始まりました。それに合わせてプロジェクターのタイマーが7分間のカウントダウンを始めます。



生徒の発表は真剣に、そして楽しく立派な発表でした。司会者の生徒が「質問はありませんか？」と声をかけると、パッと手を上げる生徒たち。生徒の質問もレベルが高い。

その後は生徒が付けるルーブリック評価です。項目は「わかりやすさ」「課題解決への分析」「探究的要素」「資料・リソースの使用」「プレゼン力」を優、良、可の3段階で点を付けます。

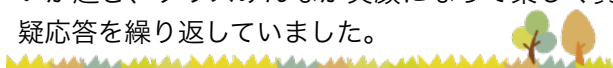
さらに記述項目もあり「発表に対する『質問』があれば記入してください」と「発表に対して『良い点』を記入してください」です。

生徒は慣れた自分のスマホで記述項目にも臆する事なく入力をしていました。

(君たちパソコンのキーボードでも早く大量に打てるかな？と私の心の声が)

そんなことを思っていると、司会の操作でプロジェクターには生徒たちが入力している「質問」と「良い点」がリアルタイムに投映です。

その投映を見ながら司会者が生徒に質問を始めました。質問中も増えていく「質問」と「良い点」。最初は緊張していた生徒も、ある質問で笑いが起き、クラスみんなが笑顔になって楽しく質疑応答を繰り返していました。



後日、ICTニュースレター発行にあたり「授業はどうでしたか？」と質問させていただきました。

発表者の1年3組のAさんは、「『野生動物と人間が共存するために』をテーマにクジラの忌避行動などを紹介したが、クジラについてクラスみんなが興味をもってくれたのがうれしかった。

発表の内容は東京海洋大学の先生が出された論文をまとめてプレゼン資料を作成した。今回のプレゼンテーションを通して、海洋生物について興味が深まったので、大学に進学して実際に自分で実験を行ってデータをまとめていきたいと思います」

1年1組のBさんは、「私のクラスでの発表会の時は中学校の校長先生が参観に来られていました。張り切っていましたが、私の発表の直前に別の会場に移動されたので頑張っている姿をみせられなくて残念でした。

発表は「癌治療」について発表しました。治療法や副作用などの課題について調べて発表しましたが、今後の課題としては倉吉市や中部医師会などにインタビューして地域の取組や課題について調査して高校生の視点で解決策を考えたり、大学で学びたいことを明確にしていきたいと考えました」

岩間先生は研究発表会を通して「本校は小中学校で力をつけた生徒を預かっているのだと改めて責任を感じました。Society5.0において生徒たちが活躍するために必要な力を身につけるためには、教員はteacherという役割からfacilitatorとしての役割にシフトしていかなければいけない、その中でどのような授業形態が可能かチャレンジしてみました。生徒の力をもっと活かす授業づくりをいかに作るかが課題だと思いました。ICT活用モデル校としてどのような授業が提案できるか、まだまだ研究途中ですが、授業改善と働き方改革につなげられるよう、ICT活用の可能性をこれからも模索していきたい」と述べていました。

.....

今回、岩間先生からお声をかけていただき、授業見学から始めて、さらに熱くディスカッションまでさせていただきました。教育にICTを活用していくことは生徒の世界観を広げて、さらなる繋がりにより自信や目標になると感じました。



## 教えてICT！

～G Suite for Education 編～

### Q1. G Suite for Educationとは？

Googleが構築したクラウドサービスです。サービスにはファイルなどを保存するドライブ、文書作成のドキュメント、表計算のスプレッドシート、プレゼンテーションのSlide、オンラインアンケートやテストに使えるForms、電子会議のMeet、簡単にアイデアを形にして共有するJamboard、メモとリストのKeep、メール、カレンダー、Chat、Classroomなどが用意されています。

G Suite for Educationを使うことで、あまり端末に左右されることなくWindows、Mac、ChromeBook、スマホやタブレットで使うことができ、生徒たちはリアルタイムで共同編集ができます。

### Q2. Classroomとは？

Googleと米国内の教育者が協力して構築したClassroomは、教師による課題の管理をサポートするシンプルで使いやすいツールです。

Classroomを利用すると、教師はクラスの作成、課題の出題と採点、フィードバックの提供などを1か所で行えます。

引用： <https://edu.google.com/intl/ja/products/classroom/>

### Q3. Classroomの使い方は？

先生は、Classroomのホーム画面で担当クラスのクラスカードを作ります。次にClassroomから生徒を招待します。招待を受け取った生徒が承認するとクラスに登録されます。

登録が終わるとストリームを使ってお互いにメッセージを送ることもできます。先生は資料や課題の配布、そして提出された課題について採点ができます。

## ～校内ICT研修 & 教育ICT実験室 開催のお知らせ～

台数限定になりますが、ChromeBookを使って研修ができるようになりました。ChromeBookの評価を兼ねてのご参加お待ちしております！！



### <校内ICT研修 開催スケジュール 会場：化学室>

第4回 11月12日（木）15:50～16:30 Classroom(2) 課題の配信

第5回 11月27日（金）15:50～16:30 Zoom(2) 遠隔授業（準備編）

### <教育ICT実験室 随時開催>

どのように教育にICTを活用すればいいのか？アイデアはあるけど実現方法は？操作に慣れたい！先ずは一緒に試行錯誤をしてみましょう。空いている教室を使って教育ICT実験室を開催します！開催日時をご相談させてください。開催日時が決まりましたらClassroom「校内ICT研修」のストリームで告知させていただきます。

## あとがき

こんにちは。学校の中庭にはカリンの木があり、ついに実が落ち始めました。なんて書くか待っていたみたいですが、実は英語の小矢野先生に教えてもらいました。咳止めに効果があると言われるカリンの実。あれ？どうやってシロップを作るのだろう。誰か暇な時にでも教えてください。

さて、先月は先生の遠隔授業用としてChromeBookが8台納品されました。「くろーむぶっくありマス」です。

早速、使ってみるとClassroomとの相性が良かったです。同じGoogle系だから当然でしょうが、何かにつけて合理的に使えるのです。

サクッと起動してログイン。ワンパスでClassroomを起動するとスマホとは比較にならない広い画面。ちゃんとキーボードもある。Classroomのメニューも分かりやすく、スピードも申し分ない。気持ちよくGoogle Slide、Forms、Jamboardが使えました。返却はログアウトしてアカウントを削除すれば安心して充電保管庫に返せます。

